

ヒューマンサービス学会 2024 年度第 1 回理事会議事録

日時：令和 6 年(2024) 5 月 7 日(火)14 時 00 分～15 時 00 分

場所：神奈川県立保健福祉大学 中会議室（窓あり）+オンラインのハイブリッド開催

出席予定者 理事：中村丁次、白井正樹、村上明美、隆島研吾 W、鄭雄一 W、水戸優子、熊谷圭二郎 W、玉川淳、五味郁子、岸川学

監事：森田千晶 W、白水真理子 W *W=ウェブ参加

欠席者 豊倉いつみ、田口健介

司会：隆島研吾 W 書記：水戸優子

議事次第

1. 理事長挨拶

中村理事長からヒューマンサービス学会の活動が、一步ずつではあるが、確実に進んでいること、引き続きみんなで協力しあい、本会を大切に育てていきたい旨の挨拶があった。

2. 編集委員会報告（隆島委員長）

隆島編集委員長より、第 1 巻のヒューマンサービス学会誌発行の報告と御礼の挨拶があった。現在、編集委員会が順調に活動し、第 2 巻発行に向けての準備を進めていることの報告があった。

詳細の報告は以下の通りである。

- ・メディカルオンラインの会員向け無料閲覧 ID を取得。学会事務局より会員へ周知した。
- ・国立国会図書館より、ISSN の正式な発行を受けた。
- ・ヒューマンサービス学会誌に関する規定等の一部変更：「投稿ならびに執筆規定」「投稿原稿添付票（兼チェックリスト）」「ヒューマンサービス学会誌 掲載料の支払いについて」学会事務局へ共有、HP 掲載資料の差し替えを行った（5 月 4 日付）。
- ・第 2 号の発刊に向けた準備について、次回委員会より、アイデアをもちよって検討を進める。第 2 回学術集会報告を入れていきたい。
- ・SHI で研究発表を含むシンポジウムの開催を予定している。HS 学会の共催が可能かを確認し、学会誌との連携を検討する。
- ・投稿論文の募集について、現在リーフレットを作成し、本学教員のポストに投函する予定である。院生、修了生にも案内していきたい。

3. 第 2 回学術集会の準備状況（白水学術集会長）

白水学術集会長より、以下の説明があった。

- ・ポスター Ver 1 を作成し、ホームページに掲載を開始した（資料 1）。登壇者等が決定したらチラシ印刷を行う予定である。

- ・プログラム案（資料2）
 - 会長講演：白水眞理子氏（30分）
 - 基調講演：成松宏人氏（SHI）（70分）未病にかかわるテーマ（仮）。
 - シンポジウム1：ヒューマンサービスの学問的発展の基盤を創る（仮）：（90分）
 - 稲垣聡氏（看護学科卒業生・神戸市看護大学助教）、
 - 小栗靖生氏（栄養領域修了生・京都大学大学院農学研究科助教）、
 - 小林理氏（社会福祉系修了生・東海大学健康学部教授）、
 - 座長未定
 - シンポジウム2：ヒューマンサービスワーカーによる実践と研究（仮）：
 - 荏原優子氏（看護学科卒業生・コミュニティナース）、
 - 尾関麻衣子氏（栄養学科卒業生・日本歯科大学リハビリテーション多摩クリニック管理栄養士）、
 - 櫻井利純氏（リハビリテーション学科作業療法学専攻卒・同窓会会長）、
 - 田中康雅氏（SHI 修了生・株式会社パパゲーノ）、座長未定
 - 一般演題1（ランチミーティング）：4 演題（40分 発表8分質疑応答2分）
 - 一般演題2（ランチミーティング）：4 演題（40分 発表8分質疑応答2分）
 - 通常総会(30分)
- ・今後のスケジュール 5月23日第3回企画委員会、6月一般演題募集開始

その後、プログラム案の順序とシンポジウムについて意見交換がなされ、現行シンポジウム1と2の順序を変更すること、シンポジウム2のテーマを「・・・実践と研究」から「・・・実践」に変更することが提案された。さらにプログラムの「ランチオン」と記載があるが、これはどのようなものかと質問があり、企業等からのランチ提供ではなく、各自で用意したランチを摂りながら、一般演題発表に聴講する形式であることの説明があった。それならば「ランチミーティング」という名称がよいのではないかとの意見が出された。引き続き企画委員会で検討していく。

4. 財務委員会（五味財務担当理事）

五味理事から資料に基づき以下の報告があり、審議したところ、令和5年決算報告ならびに令和6年度予算案について、理事全員一致で承認された。

- ・令和5（2023）年度収支決算報告について（資料3）：収入が578,000円、支出が368,924円、次年度繰越金209,076円であった。会計監査を監事白水氏、森田氏に依頼する。
- ・令和6年(2024)年度予算案について（資料4）：収入が720,000円、支出が720,000円にて予算案を立てる。
- ・臨時総会にて会計報告を行い、承認を得た執行する。

*【参考】会則第25条2. 本会の予算および決算は、理事会の議を経て総会の承認を受けなければならない。

- ・会計監査は、書類を郵送法にて白水監査、森田監査に送り、監査を受けたのち、署名をいただく。その書類を臨時総会にかける。
- ・寄付のことの質問があり、寄付控除のしくみができていないが、控除がなくてよければ寄付は受け付けることが確認された。

5. 総務（水戸事務局長、玉川総務担当理事）

1) 水戸事務局長より、令和6年度の活動計画ならびに予算執行は、通常総会后(11月16日)では時期的に学会活動期の半分が過ぎてしまい、活動に支障が出るため、以下の通り6月に臨時総会を開催することにし、11月の通常総会では令和6年と令和7年の活動計画と予算案を審議したい旨の提案があり、理事全員一致で承認された。

詳細計画は以下の通り；

- ・臨時総会の開催について（令和5活動報告と令和6活動計画、令和5決算と令和6予算案の承認）：Zoom オンラインによる臨時総会開催（6月25日18時30分～19時）とその前に臨時総会案内と出欠確認と委任回答（Google フォームアンケート使用）
- ・通常総会(11月16日)までの準備 令和5年度活動報告、令和6年度活動計画、令和7年度活動計画、令和5年度決算報告、令和6年度予算案、令和7年予算案を立てる必要がある。→第3回学術集會長の推薦、事業部に令和6年、7年の活動計画案を依頼したい。

*【参考】会則第21条4. 臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、または正会員の5分の1以上から議事を示して請求があったときには、理事長が召集して開催する。

2)

2) 玉川理事より総務委員会の設置について資料5に従って提案され、全員一致で承認された。

- ・総務委員会の設置：会則には事務局運営について、第10条事務局の設置と事務局長を置くことが記載されているが、詳細の事項が定められていないため、総務委員会規程を作成したい。それにより、円滑な学会運営および理事・監事の選挙規定作成、日本学術会議協力学術研究団体への登録の準備を進めたい。
- ・総務委員会規程（案）の検討について（資料5）：

なお、総務委員には、委員長玉川氏、副委員長加藤木真史氏、中村拓人氏、森朱輝氏が推薦された。理事・監事選挙は、令和6年度を行うことを想定して、選挙規定を総務委員会で検討して、理事会で審議決定していく。

6. 第3回学術集会長の推薦について

- ・令和7年度開催予定の第3回学術集会長に鄭雄一理事が推薦され、全員一致で承認された。鄭理事より企画委員長および事業部担当委員についてSHIで検討する旨、報告があった。その後、企画委員長には成松宏人氏、事業部担当委員に根本裕太氏が推薦された。この2名についてメール審議にて承認することとする。

7. その他

水戸事務局長より、会員数について以下の通り報告があった。

- ・現在の会員数 正会員96名、学生会員1名、賛助会員1名、名誉顧問2名

次回会議日程

令和6年8月を予定、メールにて連絡する。

* 令和6年の理事会予定 1月、3月、5月、8月、10月

ヒューマンサービス学会 第7回理事会 議事録

日時：令和6年(2024) 3月14日(木)14時00分～15時00分

場所：Zoom オンライン会議

出席予定者 理事：中村丁次、白井正樹、村上明美、鄭雄一、水戸優子、熊谷圭二郎
玉川淳、岸川学

監事：森田千晶、白水真理子

欠席者 隆島研吾、五味郁子、豊倉いつみ、田口健介

司会代行：村上明美 書記：水戸優子

議事次第

1. 編集委員会報告（学会誌 PDF,資料1）（編集委員長代理水戸）

ヒューマンサービス学会誌第1巻が発行された。メディカルオンラインと大学機関リポジトリにて公開していく。会員にはPDF版をメール添付で配布する。紙冊子体は40部印刷し、名誉顧問、理事、論文掲載者に配布する。なお、学会誌は大学機関リポジトリに掲載することを編集委員会が提案し理事会にて承認となった。次回の編集委員会（3月27日）で学会誌の投稿規定の見直しを行う予定である。今後、投稿者を募集するためにリーフレットを作成中である。

2. 第2回学術集会の準備状況（白水学術集会長） 資料2

2024年2月6日に第1回の企画委員会が開催され、委員メンバーを決定された。委員長は間瀬氏、副委員長は在原氏である。前回の理事会にて決定した通り、会期は、2024年11月16日土曜日で9時30分～16時30分である。テーマは変更しないが、サブテーマは「ヒューマンサービスの理念や実践上の課題、将来像を議論する」とし、少し柔らかい感じで身構えずに意見交換ができるようにと変更した。プログラム内容等は資料2の通りである。基調講演者とシンポジストへ推薦したい人がいたら、連絡をいただきたい。学術集会参加方法は、対面参加メインでオンラインライブ配信とのハイブリッド開催とし、参加費は同金額とする。昼食の手配を検討する。

3. 財務委員会の設置について（五味財務担当理事の代理水戸）

1) 財務委員会の設置について

前回、理事会の承認を得た財務の規程にしたがい、財務委員会を立ち上げ、五味理事と笹田氏（リハ学科OT）、在原氏（社会福祉学科）の3名が財務委員として承認された。4月1日から委嘱する。

2) 2023年度収支決算報告と2024年度予算案について

標記の件について、2024年11月16日開催予定の通常総会時まで、事業計画や予算が確

定せずに活動を行うことでよいかについて検討を行ったところ、それは適切とは言えないとの意見が多かったことから、2023年度の収支報告と2024年の予算計画の承認を得るために、6月初旬の夕方に臨時総会をZoomで開催することに決定した。なお、2025年度以降はこのようなことが生じないように、申し合わせを作成し、2024年の通常総会にて承認が得られるようにする。

4. 総務委員会の設置について（総務担当）

現行の役員組織では、総務委員会が設置されていない。今後、様々な事務活動や理事・監事の選挙を行うこと、日本学会会議協力学術研究団体への登録を行う必要があるため、その対応を行う総務委員会を設置したいとの意見があった。次回の理事会にて総務委員会規程について検討を行うことが承認された。

・正会員 92名、学生会員 2名、賛助会員 1名

5. その他（3月14日～30日に開催された委員会等報告）

1) 学術集会第2回企画委員会（3月18日開催）：①プログラム進行・演者の検討と決定（7割程度内定、第3回企画委員会までには確定する予定）、②一般演題募集：6月3日～8月30日、HPとチラシによる募集、登録はGoogleフォーム。③懇親会を食堂にて実施予定。④参加費は2000円、オンライン配信あり。⑤第1弾チラシ作成中。⑥企画委員会内役割分担決定。次回は5月23日を予定。

2) 第8回編集委員会（3月27日開催）：①学会誌1巻が3月25日メディカルオンラインにて公開された。会員向けに等学会誌の無料閲覧IDを申請中であり1,2週で発行される。

②ISSNの正式な発行手続きを行っている。③投稿ならびに執筆規定について修正案がだされ、一部継続審議を行っている。次回4月24日18時を予定。

理事会 2024年度第1回 会議日程 令和6年5月7日(火) 14時～15時

2024年（令和6年）の理事会予定 1月、3月、5月、8月、10月

臨時総会 6月 Zoom開催、通常総会 11月16日予定

ヒューマンサービス学会 第6回理事会 会議録

日時：令和6年(2024) 1月18日(木)15時00分～16時00分

場所：神奈川県立保健福祉大学 小会議室、Webのハイブリッド

出席予定者 理事：中村丁次、白井正樹、村上明美、鄭雄一 W、水戸優子、
五味郁子、岸川学

監事：森田千晶 W、白水眞理子 W ※W=Web参加

欠席者 隆島研吾、玉川淳、熊谷圭二郎、豊倉いつみ、田口健介

司会代行：村上明美 書記：水戸優子

議事次第

1. 第1回学術集会活動報告について(事業部) 資料1) 2)
 - ・水戸理事より 資料1) 2) に基づき報告があった。
資料1) に脱字があったため1文字追記する。
資料2) の支出の部の記載について、白水監査より支出決算と学会事務局に返金は分けて記載すべきとの指摘があり、修正する。
2. 第2回学術集会の企画について(白水学術集会長) 資料3)
 - ・白水次期学術集会長より、資料3に基づき第2回学術集会の企画案が報告された。サブタイトルに「～ヒューマンサービスの理念や実践上の課題、将来像を議論する～」を入れてはどうかと提案があった。このことは企画委員会にて検討していく。
 - ・日程案として令和6年11月16日(土)9時30分～16時30分が挙げられ承認された。
 - ・2月前半には第1回企画委員会を開催し、テーマ、プログラムを検討する。
3. ヒューマンサービス学会誌(仮称)発行に関する進捗状況について(編集委員会) 資料4)
 - ・隆島編集委員長の代理として水戸理事より編集委員会の進捗状況が資料4の通り報告された。編集委員会事務局(川名委員、西名委員)が丁寧・迅速に学会誌の編集関連作業を進めてくれているので、予定通り第1巻は3月までに発行できそうである。
4. 財務及び会計処理に関する規程(案)について(財務担当理事) 資料5)
 - ・五味理事より規程を検討している旨が報告され、審議を行った。文言等を一部修正した。
 - ・修正箇所は第1条一文字、第2条、第4条、第10条3、第16条。これらを学会事務局にて点検し、1月18日付で承認とした。本規程に基づき財務及び会計処理を進める。

5. ホームページからの議事録等の配信について（総務担当）

- ・水戸理事より、理事会と総会の議事録をホームページから配信したい旨が報告され、承認された。

6. 総務報告（会員数）

- ・水戸理事より会員数の報告があった。正会員 88 名、学生会員 2 名、賛助会員 1 名。引き続き会員の募集を行う。

・

次回会議日程 令和 6 年 3 月 14 日 14 時～15 時

神奈川県立保健福祉大学 中会議室（Web ハイブリッド会議）

令和 6 年の理事会予定 3 月、5 月、8 月、10 月、11 月通常総会、1 月

ヒューマンサービス学会 第5回理事会 会議録

日時：令和5年(2023) 10月5日(木)15時00分～16時00分

場所：神奈川県立保健福祉大学中会議室、Web (W) のハイブリッド

出席者 理事：中村丁次、白井正樹、村上明美、鄭雄一 (W)、水戸優子、熊谷圭二郎 (W)
五味郁子 (W)、岸川学、

監事：森田千晶 (W)、白水真理子 (W)

欠席者 隆島研吾、玉川淳、豊倉いつみ、田口健介

司会：村上明美、書記：水戸優子

議事次第

1. 第1回学術集会時の準備状況(事業部) 資料1)

岸川理事より資料1に基づき、第1回学術集会の準備状況が報告された。

2. 通常総会の準備(総務)(資料2 次第、Google フォームアンケートの出席確認)

ヒューマンサービス学会 会則

(総会の招集)

第21条 総会は、理事長が召集する。総会の議長はその都度、出席正会員の中から選出する。

2. 総会は、正会員の過半数の出席で成立する。ただし、委任状をもって出席とみなすことができる。

3. 通常総会は、年1回開催する。

(総会の議決事項)

第22条 総会は、次の事項を議決する。

1. 事業報告および収支決算に関する事項

2. 事業計画および収支予算に関する事項

3. 会則変更に関する事項

4. 総会で決するものとして法令または本会則で定められた事項

5. その他理事長または理事会が必要と認める事項

(総会の議決)

第23条 総会の議決は、出席した正会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長がこれを決する。なお、過半数の同意には、委任状および議決権行使書を提出した者を含む。

水戸理事より資料2に基づき、通常総会の準備状況が報告された。

なお、先に総会資料はメール添付で会員全員に送り、会場では、スクリーンでの表示のみとする。

3. 学会誌投稿論文募集開始と査読システムについて（編集委員会）

隆島理事の代理として水戸理事より資料3に基づき、編集委員会報告がなされた。

4. 総務報告（会員数、収支予算案の補正）

水戸理事より以下のことが報告された。

- ・正会員 73 名、学生会員 2 名、賛助会員 1 名
- ・収支補正予算案の確認。通常総会で承認を得る予定。
- ・現在、総務と財務の申し合わせ（内規）事項を整理中である。

5. 第2回学術集会長の推薦について

白水眞理子氏（姫路大学特任教授・神奈川県立保健福祉大学名誉教授）が推薦された。

6. その他

次回会議日程 令和6年1月18日（木）15時～16時

令和6年の理事会予定 1月、3月、5月、8月、10月

ヒューマンサービス学会 第4回理事会議事録

日時：令和5年8月28日～9月6日

メール審議

理事 出席者：中村丁次、白井正樹、村上明美、隆島研吾、鄭雄一

水戸優子、玉川淳、五味郁子、豊倉いつみ、田口健介、岸川学、熊谷圭二郎

監事 出席者：森田千晶、白水眞理子

司会：隆島研吾、書記：水戸優子

次第：1. ヒューマンサービス学会誌に関する規程、投稿ならびに執筆規定について
(編集委員会)

審議事項 上記1についてメール審議を行い承認された。なお、本規程、投稿規定、執筆規定をホームページに掲載し、投稿論文の募集を、2023年9月20日を目途に開始する。

以上

ヒューマンサービス学会 第3回理事会議事録

日時：令和5年8月1日(火)11時00分～12時10分

場所：神奈川県立保健福祉大学中会議室、Webのハイブリッド

理事 出席者：白井正樹、村上明美、隆島研吾、鄭雄一、
水戸優子、玉川淳、五味郁子

監事 出席者：森田千晶、白水真理子（オンライン）

欠席者：中村丁次、豊倉いつみ、田口健介、岸川学、熊谷圭二郎

司会：隆島研吾、書記：水戸優子

次第：

1. 第1回学術集会の準備状況報告（事業部）
2. 編集委員会報告、審議事項（編集委員会）
3. 総務委員会報告
4. 財務報告
5. その他、次回理事会日程調整

進行：

1. 第1回学術集会の準備状況（事業部 岸川理事代理水戸）

- 1) 第1回実行委員会の開催（資料1）
- 2) 学術集会ポスター（資料2）
- 3) 専門職能団体代表者の方への依頼のための趣意書作成（資料3、4）

8月中旬に依頼する

神奈川県看護協会会長 長野広敬氏→水戸理事から依頼

神奈川県栄養士会長 西宮弘之氏→中村理事長から依頼

神奈川県社会福祉士会会長→岸川理事からフォームで依頼

神奈川県理学療法士会会長 内田賢一氏→水戸理事が依頼

神奈川県作業療法士会会長 神保武則氏→奥原先生を通して依頼

以上について報告があった。なお、3)の趣意書について、玉川理事から作成した経緯、内容について説明があった。専門職能団体代表者への依頼は、8月中旬より開始する予定である。基調講演の藤森氏から講演テーマをいただきチラシを修正した。なお、事務連絡として講演者とシンポジストへの謝金及び交通費は、大学のヒューマンサービスパーチとの共催にて拠出することが報告された。

2. 編集委員会（隆島理事）

- 1) 第1回編集委員会の開催とWG会議の開催報告（資料5）

- 2) 審議事項 メディカルオンライン（株式会社メテオ）の契約（資料6、7）
 - メテオとの契約についてご審議いただきたい
- 3) WGで検討している事項の進捗状況報告（資料8、9、10、11）
 - 学会誌に関する規程案（資料8）、投稿ならびに執筆規定案（資料9）、投稿審査フロー（資料10）、投稿者が負担する費用検討資料（資料11）
- 4) 第2回編集委員会 8月8日

上記について報告があった。2)の審議事項については、全員一致にて契約することに承認した。本会の公印の入った書類について中村理事長から承認を得て、8月28日を目途に契約する。3)について資料のもと、編集委員会と学内ワーキングの進捗状況の報告があった。

理事より、投稿ならびに執筆規定の内容については、意見が出されなかったが、投稿料と掲載料の2回に分けて徴収する案については、次のような意見が出された。

鄭理事：非会員から掲載料を徴収するのは適当である。安定し、長く続けるためには必要な仕組みである。

白井理事：投稿料・掲載料を徴収すること、査読者にお礼金を出すことは、おおむね妥当である。

村上理事：投稿料を設定すると学会への入会に影響があるのではないか。学会入会者が増えてからでもよいのではない。

五味理事：財務としては投稿料と掲載料の2回徴収するのは、煩雑になるのではないか。

以上、意見交換の結果、投稿料、掲載料、査読者お礼金を設定することは妥当であるが、論文掲載の採択が決定したのち、投稿料と掲載料を合わせて請求することとし、入金を確認されたのち、掲載の手続きを進めること、論文掲載が不採択の場合には、投稿料も請求しないしくみがよいのではないかという意見があり、編集委員会に伝えることになった。

この意見を含めて、編集委員会で検討して本案を決定し、メール審議による理事会承認を8月末までに行い、9月1日から投稿論文の募集を開始することにする。

4. 総務委員会報告（水戸理事）

- ・現在の会員総数（正会員59名、賛助会員1名、学生会員1名、手続き途中10名）
- ・第1回学術集会登壇者への依頼を進める
- ・広報担当と協力し第1回学術集会の広報活動活動
- ・通常総会の準備（総会次第、資料作成、会員への周知、出欠確認）をする
- ・委員会規程の整備を行う（総務委員会規程、会計申し合わせ）

以上について報告があった。次回の理事会にて11月5日の通常総会の流れを確認する。

5. 財務（五味理事）

- ・ 入会申込者の入金確認
- ・ 2023 年度予算の補正を行う
- ・ 編集委員会による学会誌投稿・掲載、査読謝礼、編集校正費の見積りを行う

以上について報告があった。学会誌発行にかかる予算案については、編集委員会が依頼している業者見積りを受けて通常総会まで算出する。

6. その他、次回 第 4 回理事会 8 月末までにメール開催

第 5 回理事会 10 月 5 日（木）15 時～16 時

中会議室と Web ハイブリッド開催

ヒューマンサービス学会 第2回理事会 議事録

日時：令和5年5月26日(金)10時00分～11時30分

場所：神奈川県立保健福祉大学中会議室、Webのハイブリッド

理事 出席者：中村丁次、白井正樹、村上明美、隆島研吾、鄭雄一（オンライン）、
水戸優子、玉川淳、岸川学、熊谷圭二郎(オンライン)、五味郁子

監事 出席者：森田千晶、白水真理子（オンライン）

欠席者：豊倉いつみ、田口健介

司会：隆島研吾、書記：水戸優子

1. 第1回学術集会の準備状況

岸川理事より、第1回学術集会の準備状況について以下の通り報告があった。

- 1) 日時： 2023年11月5日（日）13時～18時
- 2) 場所： 神奈川県立保健福祉大学 階段教室（A443）、大講義室、大会議室
参加費；正会員 2000 円、非会員 3000 円 学生無料
- 3) 大会テーマ：「地域に根ざしたサイエンスとしてのヒューマンサービスの幕開け」

4) プログラム

- ①12時15分～12時45分 通常総会
- ②13時～13時15分 学術集会長 開会の挨拶、ショート講演
- ③13時20分～14時20分 基調講演
講演者 藤森克彦氏（日本福祉大学、社会的孤立、福祉経営学）内諾済み
座長 玉川淳理事
- ④14時30分～16時30分 シンポジウム「ヒューマンサービス学会への期待」
シンポジスト6名15分の講演、
座長 白井正樹 副理事長、村上明美 副理事長
神奈川県看護協会長 長野広敬氏→水戸理事が打診、文書等送付
神奈川県栄養士会長 西宮弘之氏→中村理事長から依頼
神奈川県社会福祉士会会長→岸川理事からフォームで依頼
神奈川県理学療法士会会長 内田賢一氏→水戸理事が依頼
神奈川県作業療法士会会長 神保武則氏→奥原先生を通して依頼

なお、藤森氏、各団体への依頼に際しては、ヒューマンサービス発会の目的や活動内容、設立趣意が記載された案内文を作成し、それを送付して、依頼していく。案内文・依頼文は玉川理事に作成を依頼する。それができ次第依頼を開始する。

- ⑤16時40分～17時55分 一般演題（口演） 4～5題を予定

- ⑥17時55分～18時 閉会の挨拶
- ⑦18時15分～19時30分 懇親会(大学の食堂)
学術集会のチラシを作成、本学のHPから申し込みできるように案内を行う。
- ⑧8月1日～10月20日の期間でWeb募集を行う。
基本的には事前申し込み制、当日も受け付ける。
- ⑨ライブ配信も予定している(大学内のシステムを使用)申し込みの時に会場参加なのかウェブサイトなのかを聞く。
- ⑩実行委員会(4～5名程度)の設置
プログラムにそって、準備。学生のアルバイトなども必要
シンポジウム、口頭発表、懇親会 各リーダーを決める
受付、全体的な運営等担当を決める。4名から5名。
7月末までに組織化をする。事務局の手伝い→水戸先生と話し合い勧める。
先生方にプログラムの共有、役割分担の確認、事務も含めた仕事の確認。運営について確認をする。

5) 広報活動

- ・ポスターの作成、ホームページにて案内開始
広報活動は田口理事に依頼する。ご登壇者の目途が立ち次第チラシを作製、HP等でも案内予定。

6) 今後のスケジュール

まずは学内の総務と事業部で進めていく。その後に理事会で検討していく。

2. 学会誌 編集委員会について

隆島副理事長から以下の通り説明があった。

1) 編集委員の構成について

隆島副理事長と鄭理事、熊谷理事と今後の相談をする。編集委員を増員していく。

前ヒューマンサービス委員会で共有された投稿規定等について共有された。

- ・投稿規定(資料1 pp.1-4)、投稿承諾書(資料1 p.5)・投稿原稿添付票(資料1 pp.6-7)

2) 学会誌の媒体について

多少は冊子にするが、郵送料がかかるため、メディカルオンラインに契約し、無料で会員がダウンロードする仕組みにしてはどうか、熊谷理事に調べていただいた。

3) 編集委員会の活動について

編集委員会で年間スケジュールを立て、査読のしくみも作り、3月くらいを目処に1巻を発行する。規定を作成、投稿準備、メディカルオンラインについてどうするか、今後打ち合わせを行う。

- ・メディカルオンライン（資料 1 pp.8-16）、参考文献の役割と書き方（資料 1 pp.17）

4) 学会誌の和文・英文の方針について

鄭理事より、学会誌は和文英文のどちらかの質問があった。また、現在エルゼビアから声がかかっているのに、打診することが可能との意見があった。このことについて、和文誌からスタートのつもりだが、もし英文で投稿されたら分けずに両方とも掲載することでどうかという意見があった。また、玉川理事より、地域の実践家にも本会に多く入会してもらいたい。英文で世界に発信するのも大事だが、和文で実践報告例なども載せたいと思っているので、このコンテンツとして生かせるものであってほしいとの意見があった。

この意見も含めて今後編集委員会にて議論を深めていく。

3. 事務局報告

水戸理事から以下の通り事務局報告があった。

- ・正会員数 29 名（他 20 名入金待ち）、賛助会員 1 名、学生会員 1 名
- ・5 月 25 日までの収入 161,000 円、支出 22,000 円
- ・学会員を増やすための戦略検討

順次、入会手続きを進めている。52 名まで申込者がいる。入金を確認次第、会員番号通知をしている。支出については、HP を立ち上げた費用と事務員を雇用した。これから体制を整えていきたい。学会員を増やすために先生方にご協力をお願いしたい。

入会案内のリーフレットを作る予定。申し込みの QR コードを付ける。本大学の HP にバナーをおき、学会入会が出来るようにする。鄭理事より直近のアピールは 6/3 に大学院の説明会、同窓会があるため、人が集まるところで宣伝したい。メールにて HP の案内していく。

4. 中村理事長挨拶

新しい学会は大変苦勞するが、是非ヒューマンサービス学会が発展していくことを願っている。地域に根差した、最近インターナショナルな雑誌を読んでも国際的な網を張ると言うよりも、狭い地域の中に良い事例があって、それが国際的にモデルになっていくというケースがある。横須賀で小さなモデルだが、これが国際的に世界のモデルになりそうな事例があったら、それが広がって、横須賀モデルというのが国際的になって行く。その時にジャーナルが果たした役割というのは大きいという形が出来たらいいと思っている。ご協力をお願いします。

学術集会の実行委員会を開催する。6 月中に招集し、7 月中に実行委員を開く。

第 3 回理事会について 2023 年 8 月上旬 1~3 日開催予定 以上。

ヒューマンサービス学会 第1回理事会 会議録

司会：隆島研吾

記録：水戸優子

日時：令和5年(2023) 3月20日(月)15時15分～16時00分

場所：神奈川県立保健福祉大学中会議室、Webのハイブリッド

理事出席者：中村丁次、白井正樹、村上明美、隆島研吾、鄭雄一（オンライン）、水戸優子、五味郁子、玉川淳、岸川学、熊谷圭二郎、豊倉いつみ(オンライン)

監事出席者：白水真理子、森田千晶（オンライン）

欠席者：田口健介

議事1. 委員会組織について

右欄組織図をもとに委員会組織について検討し、以下の通り決定した(敬称略)。

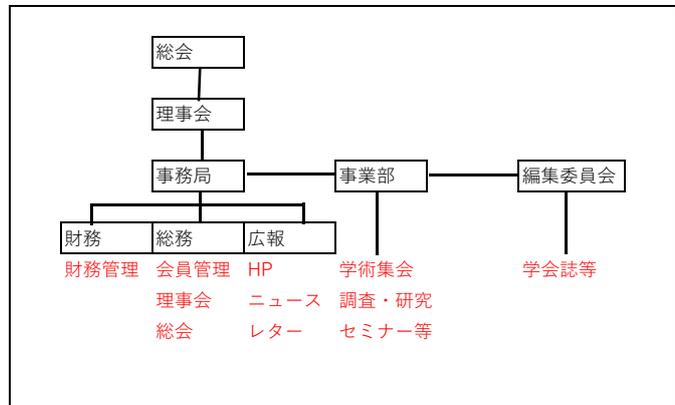
* 事務局担当副理事長：村上明美

事務局長：水戸優子

財務担当理事：五味郁子

総務担当理事：玉川淳

広報担当理事：田口健介



* 事業部担当副理事長：白井正樹

事業部担当理事：岸川学、豊倉いつみ

* 編集委員会担当副理事長：隆島研吾

編集担当理事：鄭雄一、熊谷圭二郎

今後、各部局の担当理事が、委員会メンバーを募り、組織を作っていく。

議事2. 名誉顧問の承認について

名誉顧問候補者として阿部志郎氏、山崎美貴子氏が紹介され、賛成多数で承認された。

白水監事より以下の質問があった；会則第8条の名誉会員と第16条名誉顧問をどのように区別していくのか。その回答として、会則第8条は長年の功績のある方を示し、第16条は有識者として意見が述べられる立場である。このことに共通見解を持つ必要がある。

議事3. 令和5(2023)年度事業計画（総会・第1回学術集会について・学会誌発行等）

事業計画について説明があり、賛成多数で承認された。

議案4. 令和5(2023)年度予算案の検討

予算案について説明があり、賛成多数で承認された。

報告事項

1) 学会事務局開設準備

2023年夏季以降に事務局が開設される旨報告があった。

2) 令和5年の会議日程

第1回学術集会を11月5日(日)13時から19時に、うみかぜ際に合わせて開催することを決定し、その時期までに理事会を3か月に1回、委員会は1から2か月に一度開催することとして、日程調整を行うことに決定した。なお、事業部は、4月17日に打ち合わせ会議を予定しており、その際に中村理事長が大学にこられるため、その際に日程調整を行うことにした。

以上。



2023年3月20日第1回理事会記念撮影